令和７年度第２回　島田市環境審議会会議録

１．日 時　令和８年１月１４日（水）　14 時 00 分～15 時 00 分

２．会 場　島田市役所 第２委員会室

３．出席者　＜委員＞

平井会長、木村副会長、鈴木委員、杉本委員、丸山委員、三浦委員、榎委員、岩堀委員
増田委員、樋口委員、佐藤委員

＜事務局＞

齋藤地域生活部長、櫻井環境課長、酒匂課長補佐、小野係長、櫻井主査、杉本事務員

４．傍聴人　０人

５．開 会

６．部長挨拶

７．委嘱状交付

委員改選に伴い、継続 10 人、新規４人へ委嘱状の交付を行った（うち欠席者３名）

引き続き会長は平井委員、副会長は木村委員が選任された

８．議事

報告事項

(1)一般廃棄物処理基本計画策定の進捗状況について

櫻井主査から説明

質疑応答

● （鈴木委員）

食品ロスの削減推進計画の目標値が定められているが、そもそも食品ロスについてと数値目標について教えてほしい。

◎ （事務局）

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄されてしまっているものとなる。

目標値については、国から示されている数値を基に推計値から削減量を求めている。

● (鈴木委員）

目標値は実現可能なものなのか。

◎ （事務局）

現状の減少率から推計しているものとなるため実現可能と考えている。

● （鈴木委員）

生活排水②浄化槽汚泥の関係で下水道汚泥が年々増加していくと思うが、今回の削減目標は現実的な数値か。

◎ （事務局）

所管課が下水道課になるため、詳細に把握しているわけではないが、公共下水道汚泥については産業廃棄物の扱いとなるので、今回の計画には見込まれていない。

● （平井会長）

他の自治体では下水道区域の拡大には大きな費用が発生するため下水道の普及については縮小傾向にあるという話も聞くが島田市ではどうか？

◎（事務局）

区域については現状維持、区域内での普及率を高めるという計画となっている。

●（鈴木委員）

下水道区域の縮小は国などの計画の関係で許されないのか？

◎（事務局）

その内容については担当課に確認してみる。

●（榎委員）

食品ロスが減少した場合、島田市のごみがどの程度減少するのかは試算しているのか。

健康づくり課や福祉課とは連携して計画を策定しているか。

◎（事務局）

関連して設定をしているものではない。

関係課との調整は行っている。

●（鈴木委員）

今回のごみの減量の目標値には食品ロスの減少についても含まれているということか。

◎（事務局）

本来は連動することが好ましいが、ごみの減量目標が実績値ベースに対して、食品ロスの減少率が推計であることから、今回の計画では連動していない。

●（平井会長）

今回の食品ロス削減推進計画が３章に記載されているが、全く別の計画となるので一般的には４章に章立てされていると思う。何か意図があるのか？

◎（事務局）

特に意図はない、協議会で再度検討する。

●（杉本委員）

市内の民間事業者で食品レスキューという取組をおこなっている。

年に一度イベントなども企画しているので、一緒に何か実施してはどうか、またそこから推計値の算出などを試みてはどうか。

◎（事務局）

今後民間事業者からの情報収集を含めて計画をブラッシュアップしていく。

●（平井会長）

それでは、本日は、以上で令和７年度第２回島田市環境審議会を終了する。

以上で終了